

## かさまトレイルラン大会を開催

10月10日(月・祝)に「陶芸と栗の里 第3回かさまトレイルラン大会」が開催され、市内外から447名の選手が参加しました。

今回は、24kmのロングコースと17kmのショートコースに加えてキッズコースも用意され、いずれも愛宕山のスカイロッジをスタートし、吾国愛宕ハイキングコースを含む登山道などを走りました。コースの一部には、日本ジオパークに認定された筑波山地域ジオパークを構成するジオサイトも含まれています。

選手たちは、<sup>びょうぶいわ</sup>屏風岩などの貴重な地域資源に触れながら、自然を満喫して大会を楽しみました。



スタートの瞬間

## 結城信用金庫が車椅子を寄贈

10月12日(水)に、結城信用金庫(<sup>もり みつろう</sup>森 光郎理事長)が市を訪問し、同金庫地域貢献部から車椅子2台が寄贈されました。

同金庫では、毎年信用金庫の日(6月15日)に募金活動を行っており、森理事長は「これからも地域とのつながりを大切に、地域貢献活動を行っていきます。今回もその一環で、体の不自由な方などの社会的自立をサポートできればとの思いから寄贈させていただきます。」と話されました。

寄贈された車椅子は、笠間市役所笠間支所と平成29年1月下旬にオープン予定の地域交流センターともべで利用させていただきます。



山口市長と森理事長

## 市立図書館貸出冊数全国ナンバーワン

市立図書館3館(笠間・友部・岩間)が人口8万人未満の市区の中で、貸出冊数は4年連続で全国1位、所蔵している資料数も全国で5位になりました(『図書館年鑑2016』より)。

図書資料や視聴覚資料が充実しているため、多くの利用者の要望に応えることができ、近隣自治体はもちろん、つくば市、常陸大宮市、那須烏山市からも足を運んでいただいています。

読書の秋ですので、ぜひ市立図書館に立ち寄ってみてください。



笠間図書館の皆さん

## 移住促進に向けた連携協定締結

市では、民間企業のもつノウハウを活かした移住促進の仕組みを作るため、東日本電信電話株式会社 <sup>とくなく</sup>徳成茨城支店長、「バイトル」などを運営するディップ株式会社 <sup>いわた</sup>岩田取締役COOが来庁し、連携協定を締結しました。

市長からは「特に東京圏にいる若者などのUターンやIターンを進めていきたい。そのためには、市内の事業所や市の魅力を効果的に伝えていくことが大切であると考えています。」と思いが語られました。

今後、市が行う移住体験モニターツアーや首都圏の大学生に対する市内の企業紹介などにおいて、PRサイトの作成などを三者で協力して実施していきます。



左から徳成さん、山口市長、岩田さん

